

景観審議会資料

**中心市街地歩道融雪施設等整備事業
(設計段階)**

《事業概要》

〈計画地周辺の状況〉・・・資料-1参照

当該計画地は青森市の中心部に位置し、百貨店、商店街、官公庁施設等が立地する歩行者の通行量が多い中心市街地である。

〈事業目的〉・・・資料-2参照

中心市街地の冬期間における快適な歩行環境を創造するため、主に商店街等が立地する市道古川長島通り線のうちアーケードや融雪施設が整備されていない区間（1工区、2工区）と、主に官公庁施設等が立地する市道安方長島通り線のうち主要地方道青森停車場線から国道4号線までを繋ぐ区間（3工区、4工区）の歩道に融雪施設等を整備するものである。

〈施工概要〉・・・資料-3参照

○施工時期

設計：平成25年6月～平成25年10月

工事：平成25年11月～平成26年3月

○施工内容

融雪施設工（ヒートパイプ方式） A=約1,000 m²（融雪幅 W=1.5m～2.0m）

舗装工（自然石平板） A=約1,000 m²

（擬石平板） A=約1,200 m²

《景観に関するデザインコンセプト》

〈青森市景観計画で定める景観方針（計画地がどのような位置づけか）〉

中心商業地は、違法駐車や乱雑な広告類などの改善に努め、誰もが安全で快適な歩行者・道路空間の確保、特に青森駅周辺は青い海が感じられる都心地区として回遊性の高い一体的な景観づくりを進め、人が集まる青森市の「顔」にふさわしい魅力ある景観の創出に努める。また、緑・交流・集い・賑わいのある商業空間として、歩行者や来街者にもわかりやすいサイン、統一性のあるデザインの演出など、機能性に配慮した街並みの景観形成に努める。（商業地域景観）

〈設計を進める上で配慮したこと〉・・・資料4～13参照

本事業で設置する融雪施設の能力を最大限発揮するために、既存のアスファルト舗装から融雪部は熱伝導率の高い自然石平板、それ以外は擬石平板を用いた整備となることから、既に様々な平板等により整備されている周辺の歩道の色彩と調和が図られるよう配慮した。

また、景観審議会（計画段階）の意見を踏まえ、工事着手時に街路樹の根の状況を確認し防根シートを設置することで、舗装材及び融雪施設を保護することとしている。

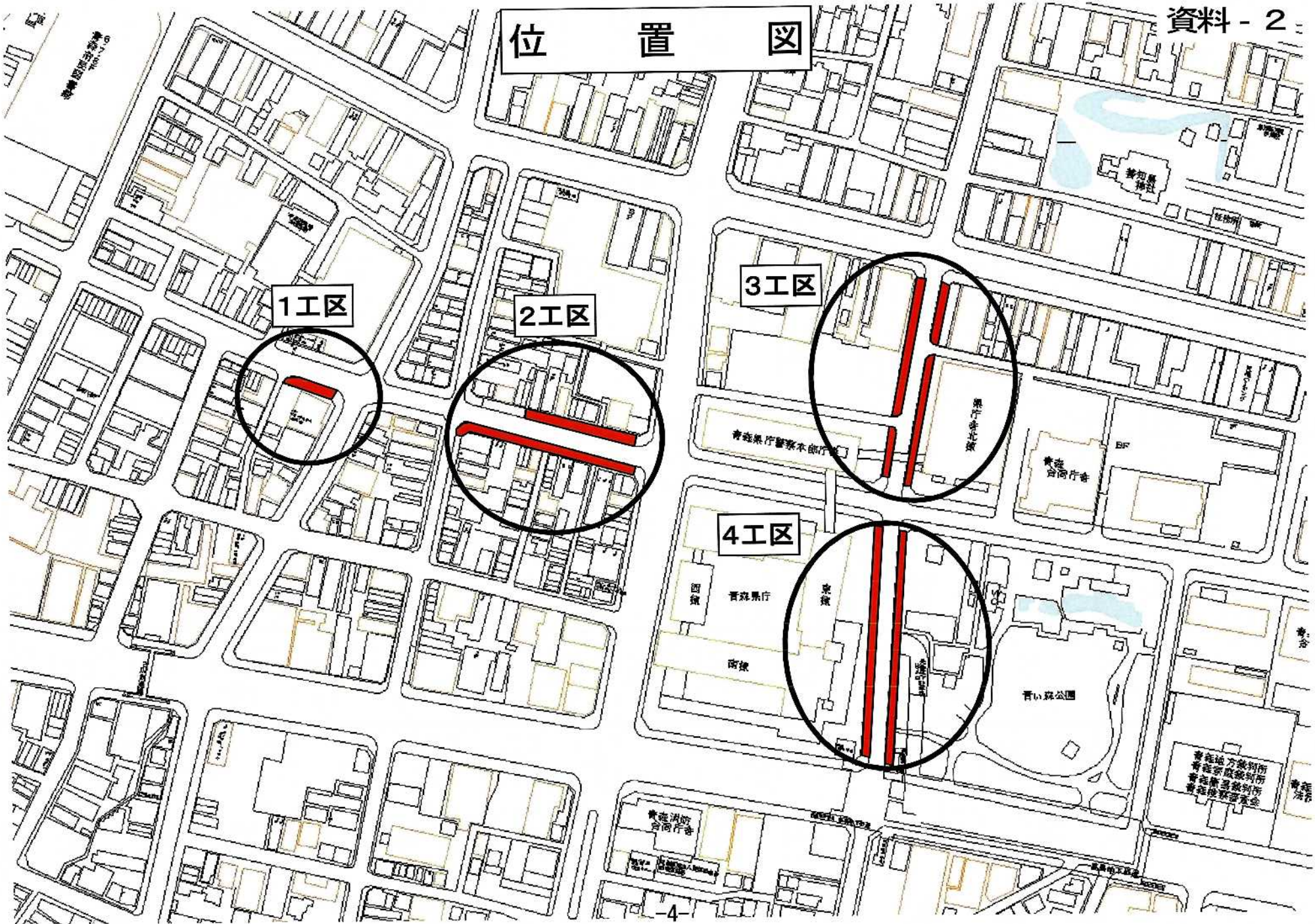
【景観審議会意見（計画段階）】

街路樹の根が舗装の破損やヒートパイプの故障の原因とならないよう防根シート等で囲う（仕切る）対策について検討していただきたい。

案内図



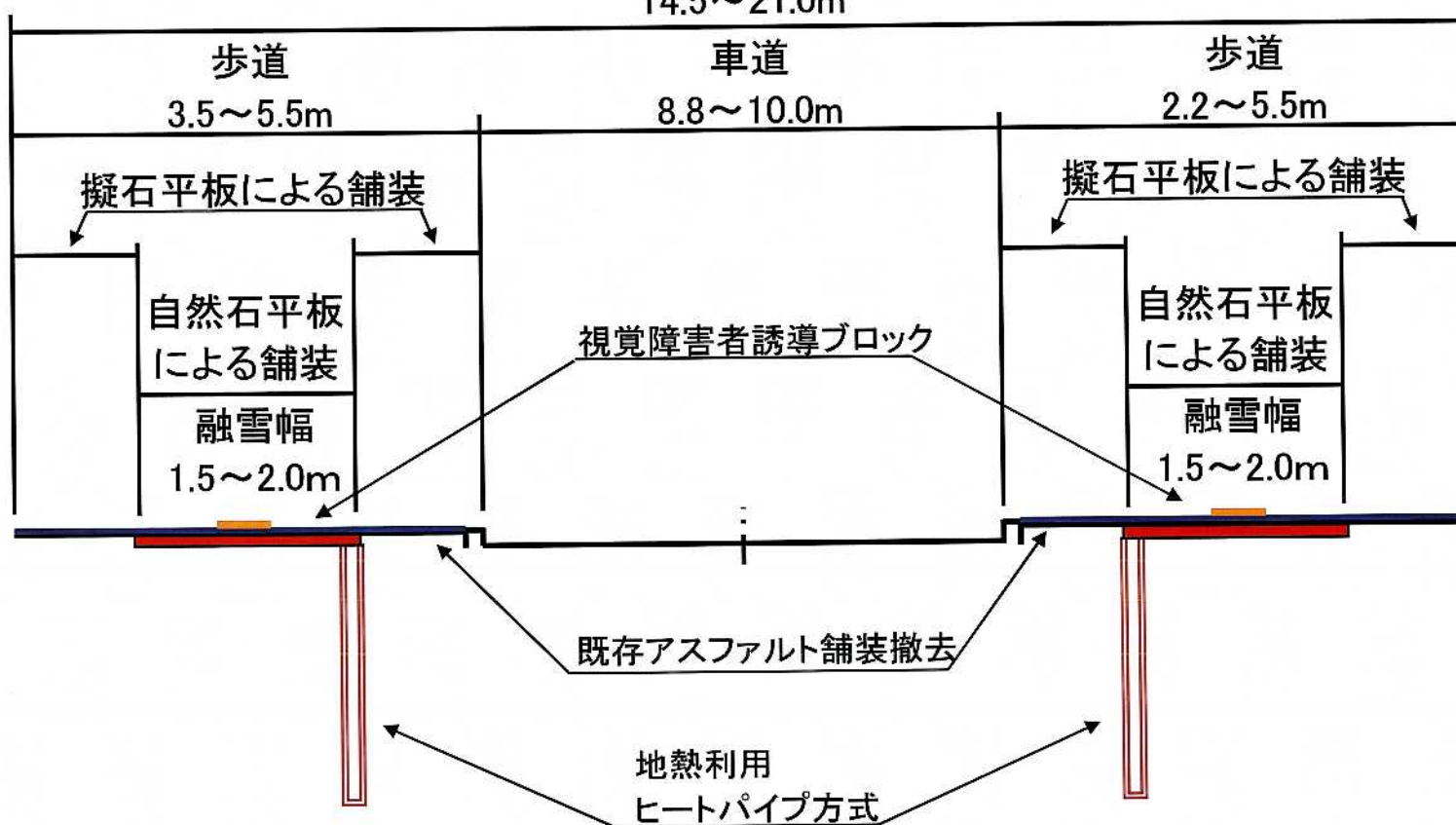
位置図



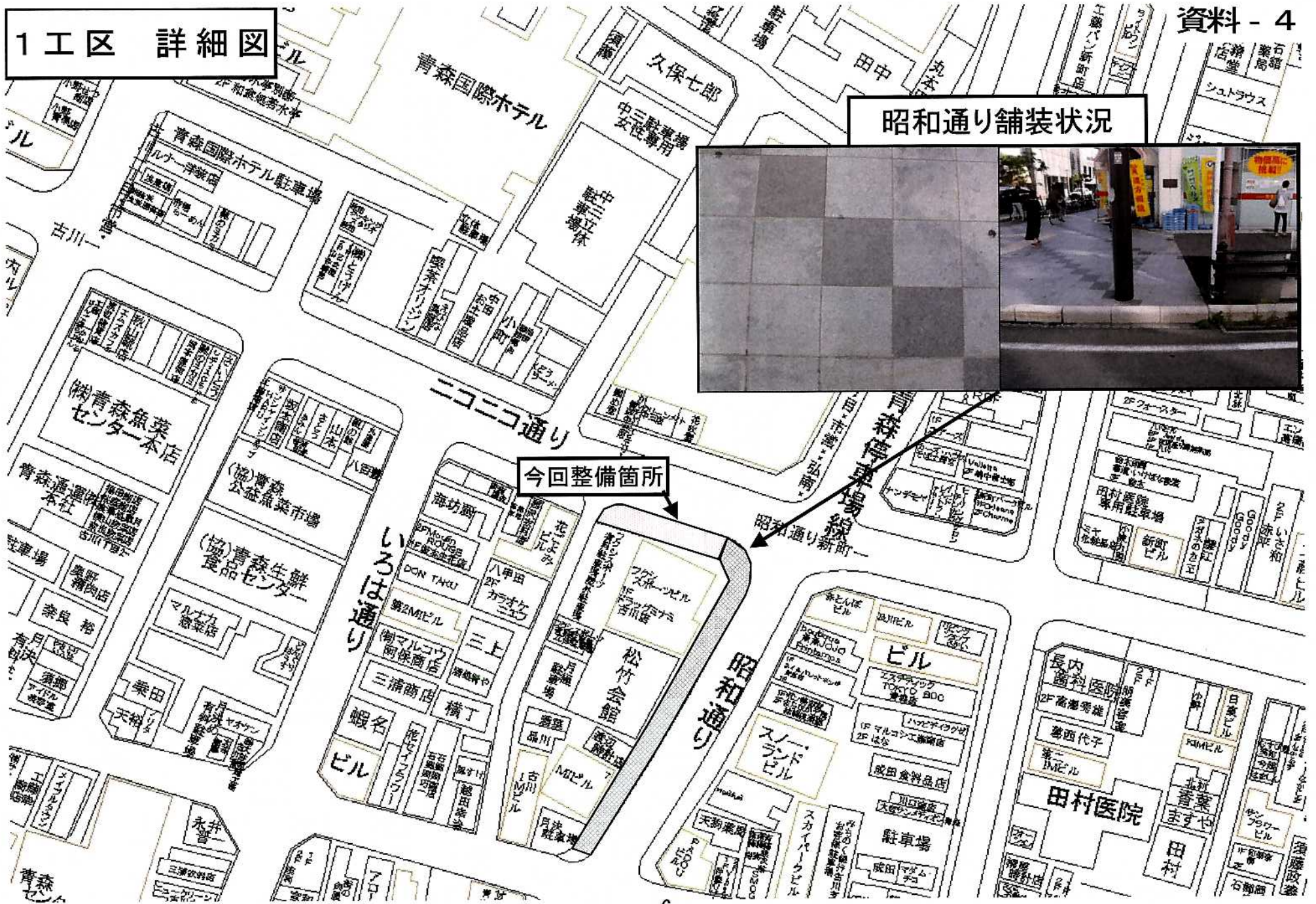
標準横断図

道路幅員

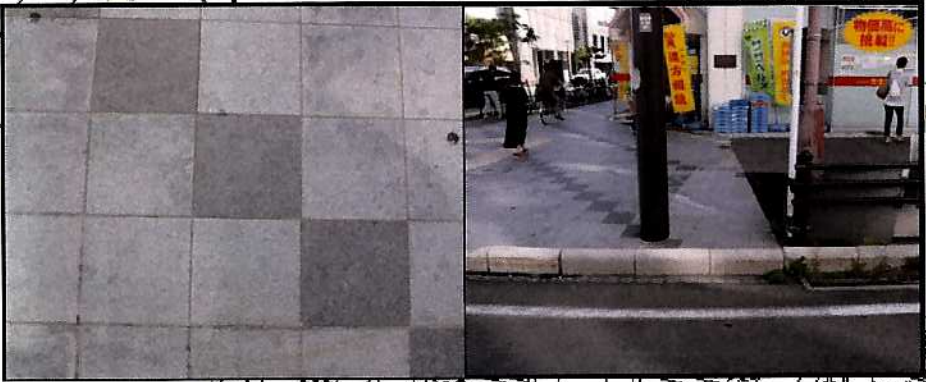
14.5~21.0m



1工区 詳細図



昭和通り舗装状況



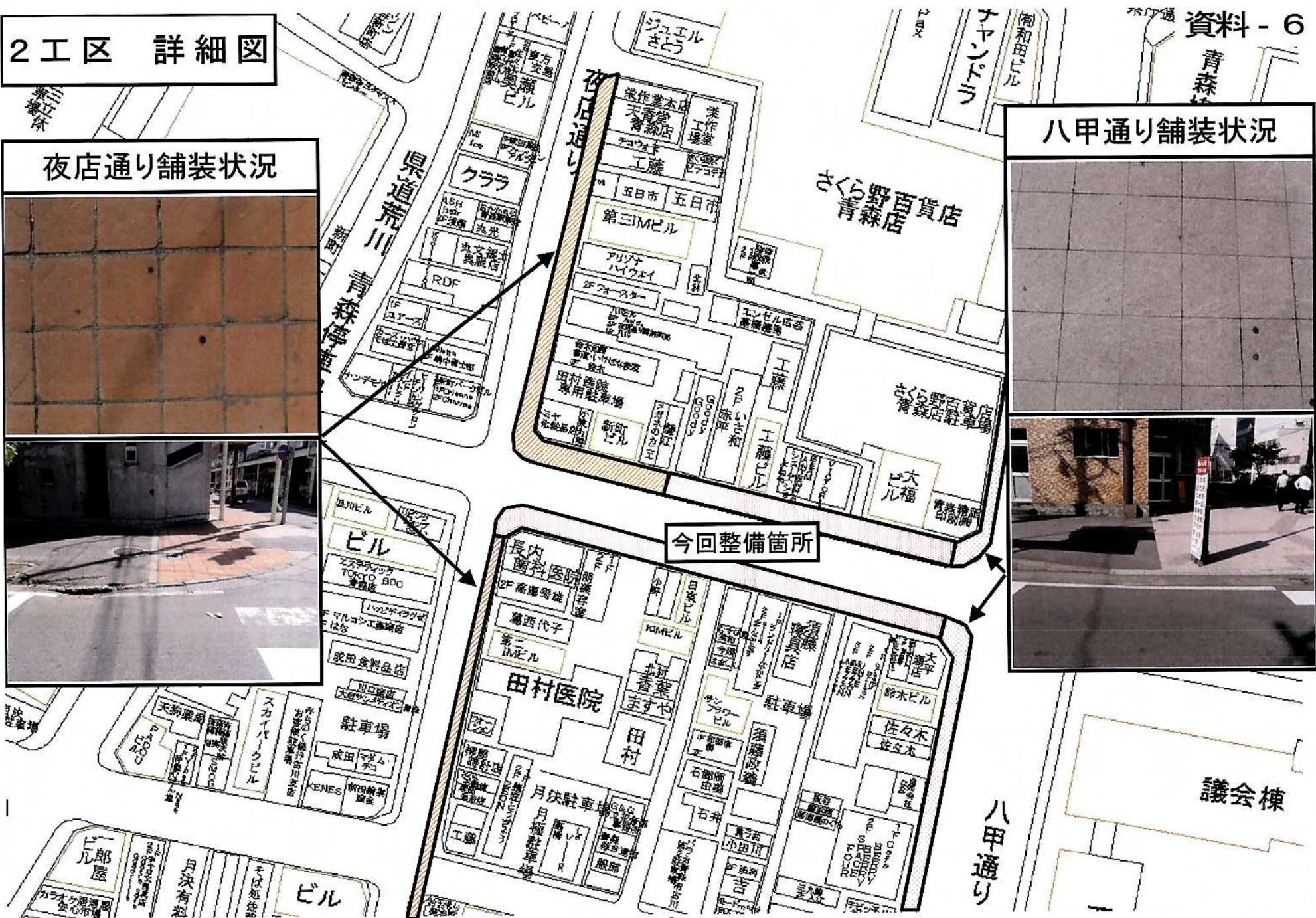
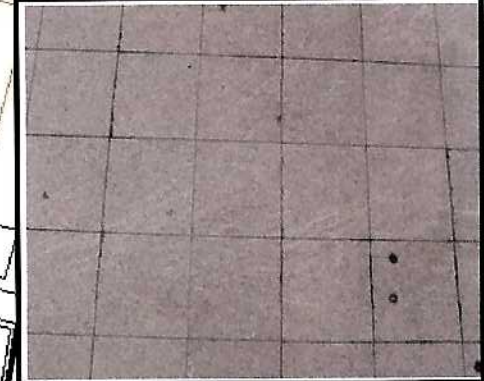
今回整備箇所

2工区 詳細図

夜店通り舗装状況



八甲通り舗装状況

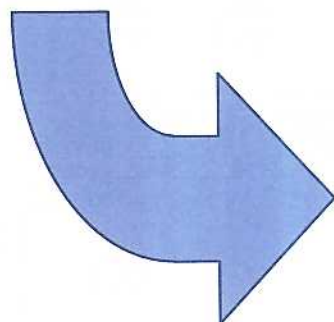
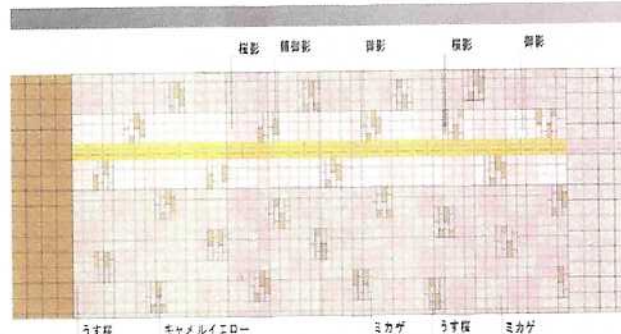


イメージパース (2工区)

施工前

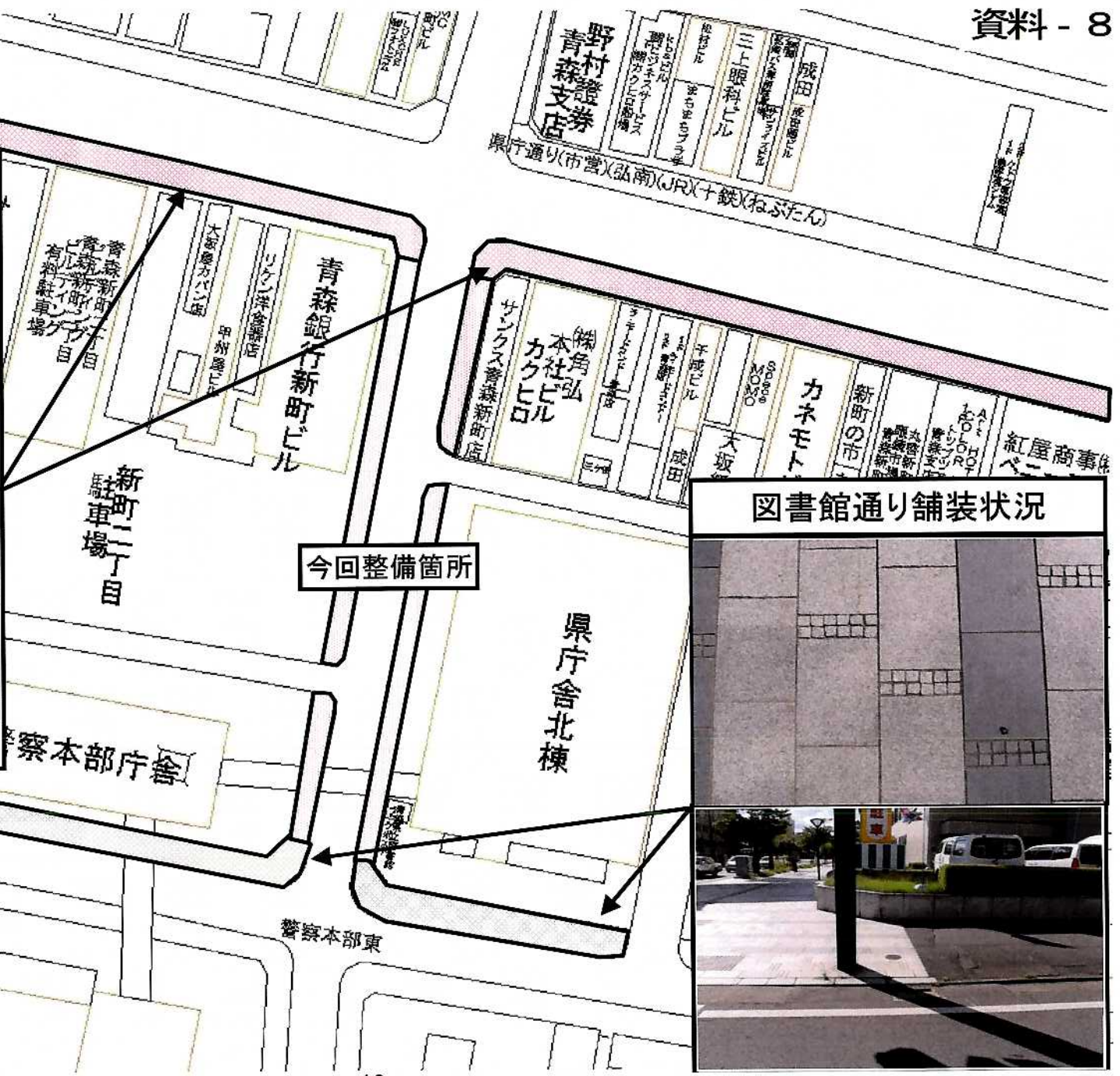
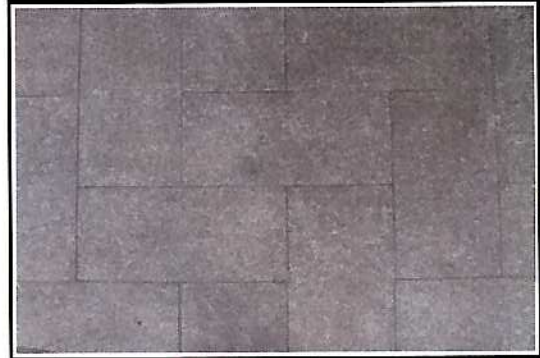


施工後

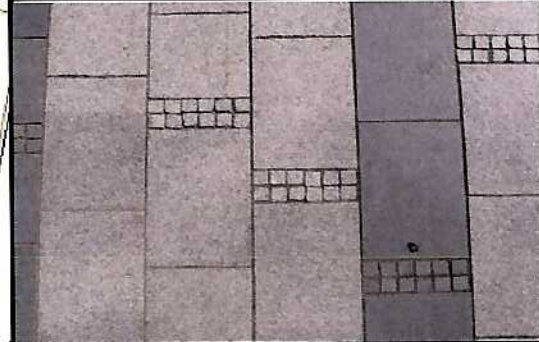


3工区 詳細図

新町通り舗装状況



図書館通り舗装状況



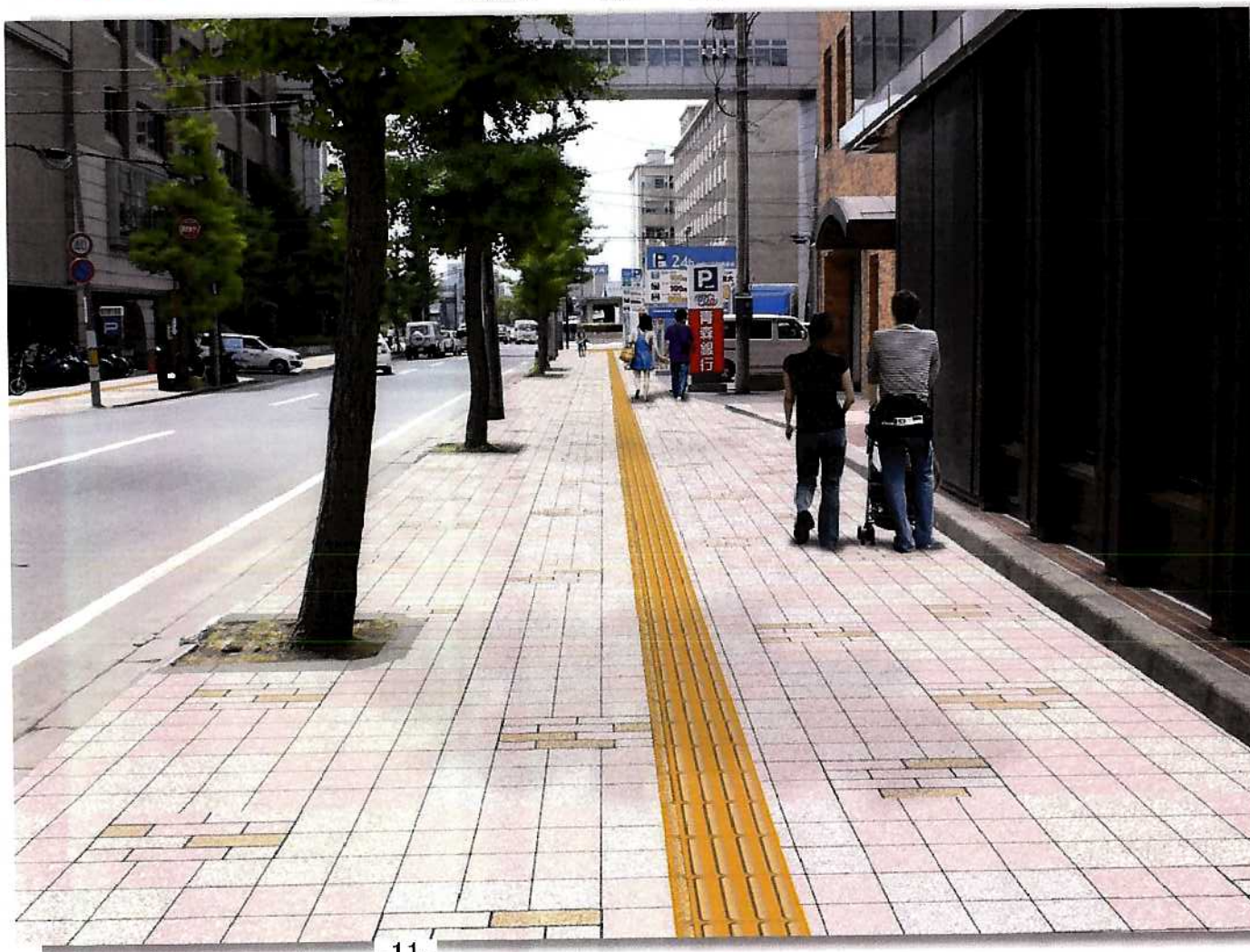
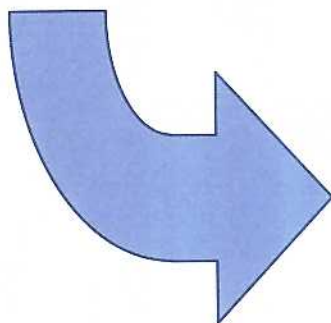
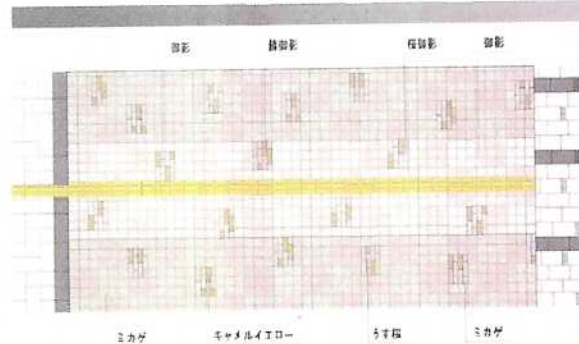
八甲

イメージパース (3工区)

施工前



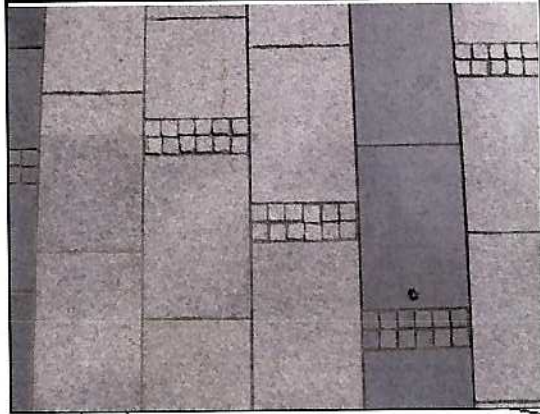
施工後



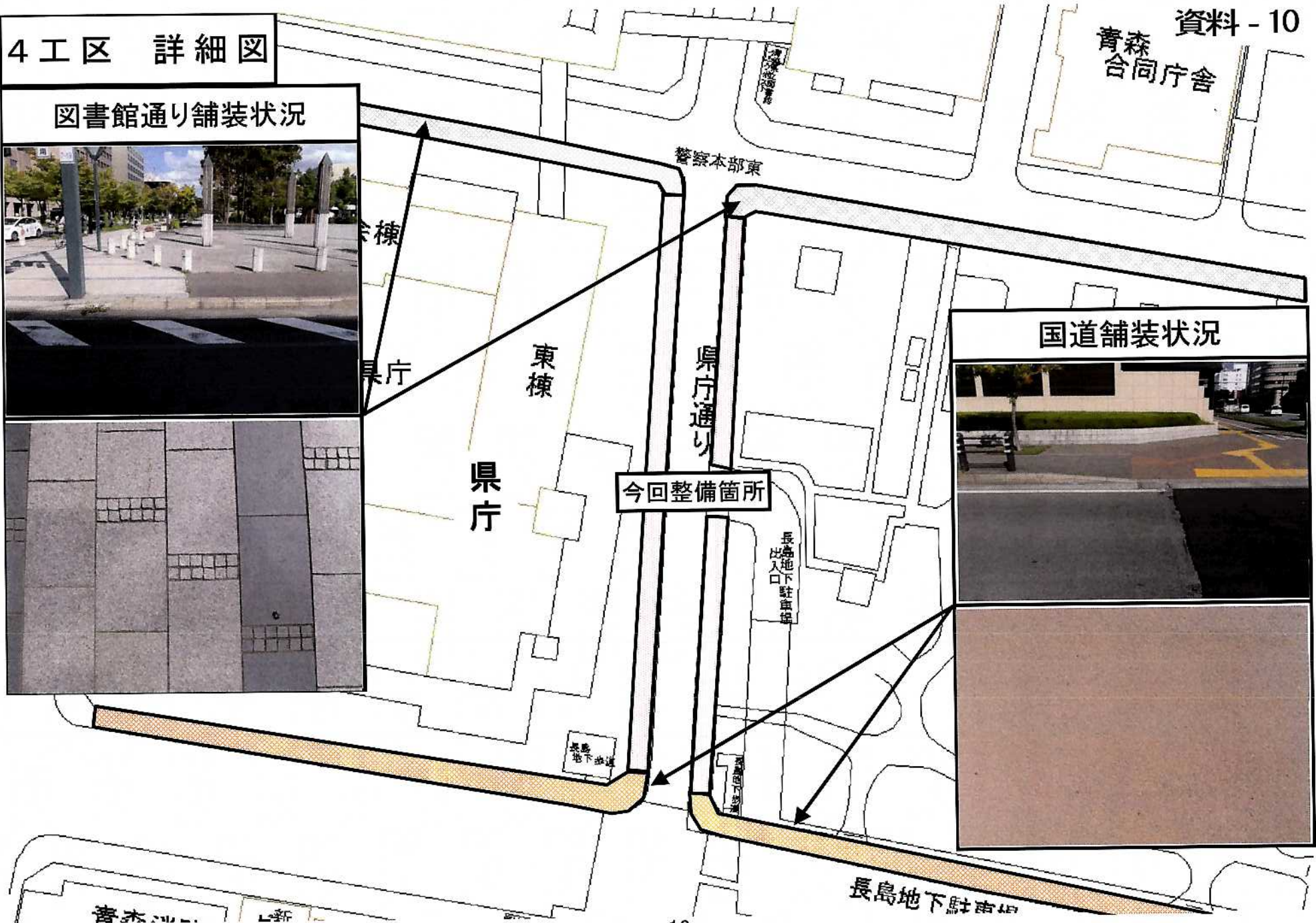
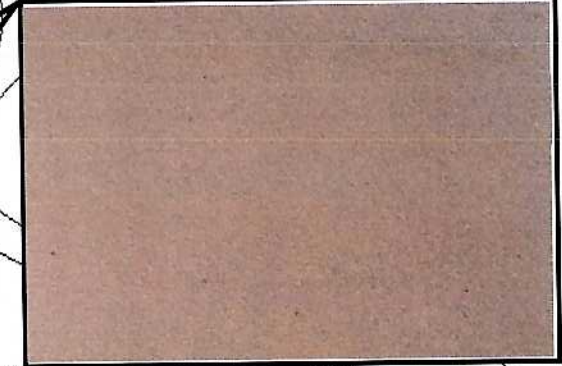
青森
合同庁舎

4工区 詳細図

図書館通り舗装状況



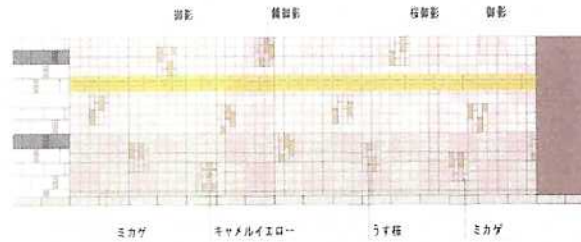
国道舗装状況



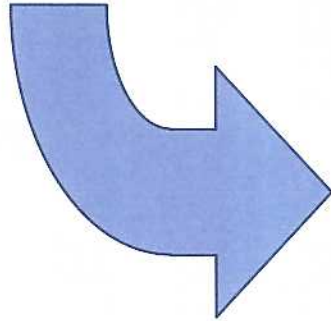
今回整備箇所

イメージパース (4工区)

施工前



施工後



写真

①から撮影した写真



③から撮影した写真



④から撮影した写真



⑤から撮影した写真



⑥から撮影した写真



②から撮影した写真



⑦から撮影した写真



⑧から撮影した写真



⑨から撮影した写真



⑬から撮影した写真



⑫から撮影した写真



⑪から撮影した写真

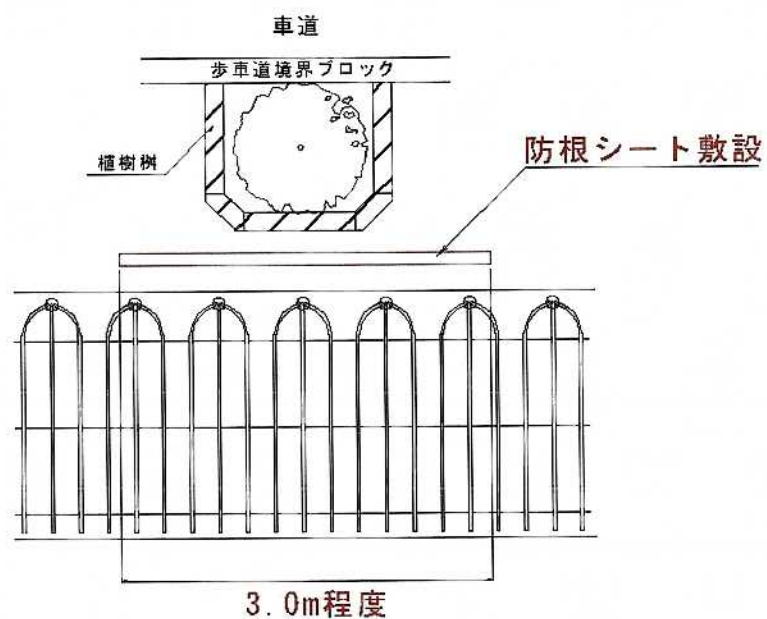


⑩から撮影した写真



樹木根への対応策

平面図



断面図

